

表 有効積算温度計算シミュレーションによるチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日
(令和7年7月16日時点)

地点	長崎	佐世保	口之津	平戸
第5世代	7/29	7/31	8/2	8/13
〃 (平年)	8/3	8/5	8/5	8/18
〃 (前年)	7/26	7/26	7/27	8/7
第6世代	8/14	8/16	8/18	8/31
〃 (平年)	8/20	8/21	8/21	9/6
〃 (前年)	8/10	8/11	8/12	8/24
第7世代	8/31	9/2	9/4	9/21
〃 (平年)	9/6	9/8	9/7	9/28
〃 (前年)	8/25	8/26	8/28	9/11

注1:発生ピーク予測日は気象庁アメダスの気温データを用いて有効積算温量により算出した。
なお、積算には令和7年7月16日までは観測値を、以降は平年値を使用した。

注2:同一地区内でも、山間部では発生ピーク予測日が異なる場合があるので注意する。
また、今後の気象条件により予測日は前後する場合がある。

注3:表中の発生ピーク予測日の5日前から発生ピーク予測日の期間に薬剤散布をすると防除効果が高い。なお、発生が多い園では、1果当たり寄生虫数が0.1頭に達する前に防除を行う。